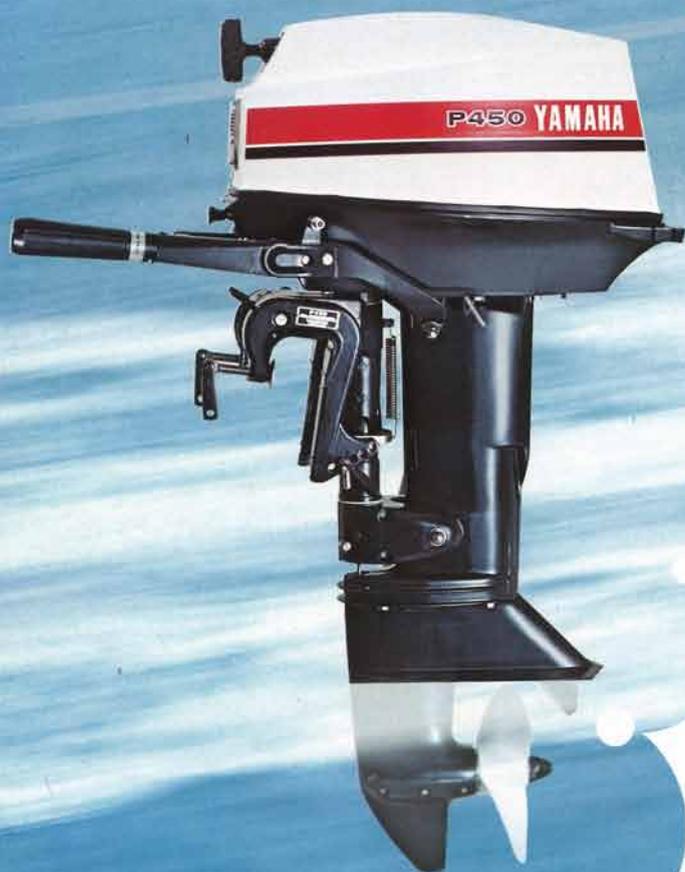


# ヤマハニュース

YAMAHA OUTBOARD MOTOR ISSUE

## 船外機特集号



本流!  
水のレジャー時代をけん引する  
ヤマハ船外機

## パワフルYAMAHA

日本一の生産量・豊富な機種  
みがき抜かれた技術・新しい機構  
余裕ある高性能・抜群の機動力  
強い・軽い・さびない  
ナンバーワンの信頼性  
——これがヤマハ船外機シリーズ



花開く“水のレジャー時代”



爽快に波を切る。ヤマハボートTRI-12SDX  
とヤマハ船外機P-450のコンビ。

**脚光浴びるヤマハ船外機**  
このチャンスを先取りしよう！

“5年後には1千億円産業に成長  
か”とジャーナリズムが予想する  
ボート・船外機。早くもこの夏に  
は“水のレジャー時代”が開花し  
ました。その本流にヤマハがあり  
ます。

## ヤングの マイ・レジャーへ

見るレクリエーションから行動するレクリエーションへ。マイ・レジャーを志向するヤングたちは、水へ殺到！ かつては特定の人たちのものであったボートも、次第に大衆化され、ヤング層のオーナーが目立ってきました。



エンジン付きで10万円たらず。水のレジャーを身近かに変えたヤマハボートTRI-8。

## フレンド店も

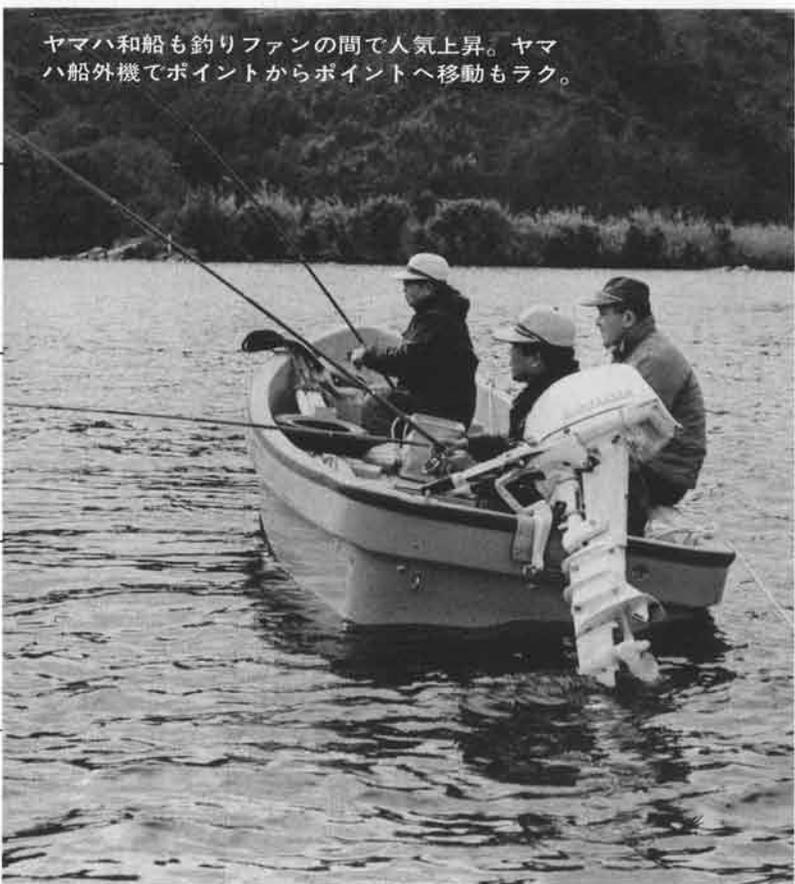
## 船外機販売に意欲

ヤングのレジャーが多様化の方向をめざしてすすんでいます。陸のレジャーから、水のレジャーへと、行動圏も大きくひろがっています。水のレジャー時代を先取りして経営に生かそうと、ヤマハ船外機、ヤマハボートの取扱いに踏み切るオートバイ販売店さんがふえています。

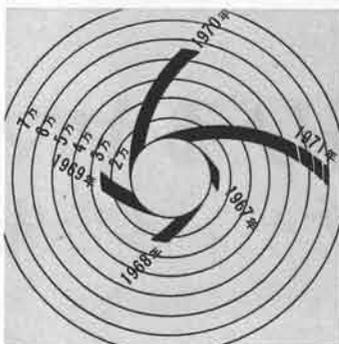
## 水のヤマハに

## 絶大の信頼

トップの生産量を誇るヤマハ船外機も、水のスポーツレジャー時代を迎えて、生産設備をフル稼働。ことしは、昨年の五万五千台をはるかに上回る七万台の生産が予想されています。一、五馬力から二十五馬力まで、機種ぞろいも豊富。いちばん信頼され、いちばん売れている船外機です。



ヤマハ和船も釣りファンの間で人気上昇。ヤマハ船外機でポイントからポイントへ移動もラク。



ヤマハ船外機の生産の伸び

ヤマハ船外機がひろげる新しいスポーツレジャー。水の  
世界は、つねに新鮮で、冒険への可能性が満ちている。





## ボート産業でも トップメーカー

ボート、船外機、ともに日本のトップメーカー。加えてヤマハ和船、ヤマハ漁船、ヤマハセールボートと水のヤマハも躍進しています。ヤマハボートやヤマハ和船があるから、ヤマハ船外機は、他銘柄よりはるかに販売しやすいのです。

## 政府も 海洋レジャー構想

政府も大がかりな海洋レクリエーション基地の開発に乗り出しています。ふりそそぐ太陽、ゆたかな緑、きれいな水。人間性ゆたかなレジャーづくりの青写真です。



ヤマハ船外機で水のレジャーもグレード・アップ。一家に一台の時代も間近かに……。



海の神秘をさぐるアクアダイビング。ヤングのレジャーはとどどんひろがる。

日本の海岸線は 2 万キロ。水の秘境を求めて心はおどる。



モーターボート 1 台あたりの人口

カナダ



アメリカ



ノルウェー



イギリス

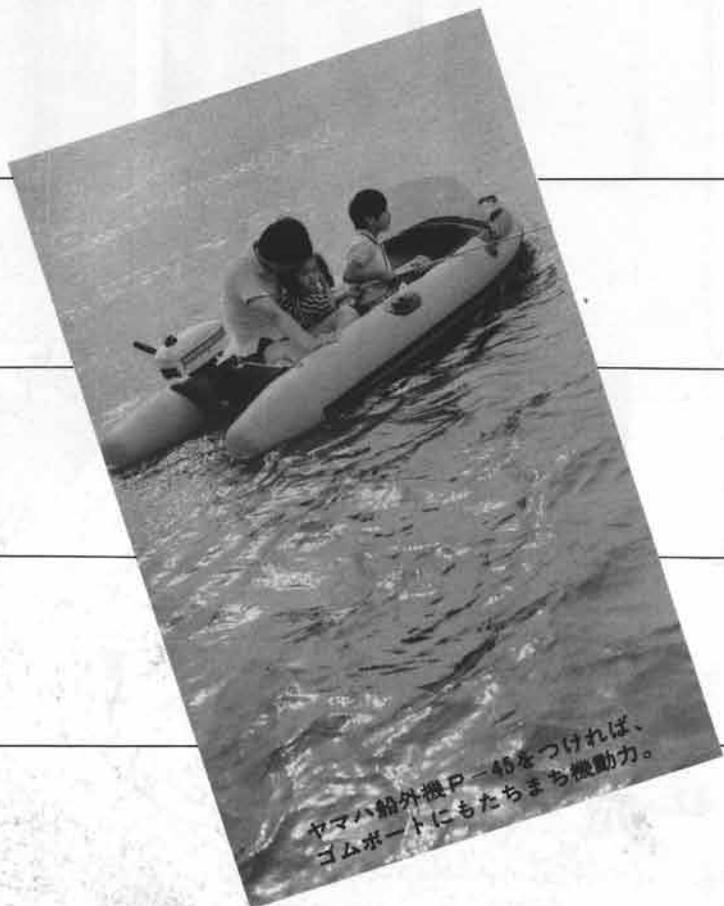


日本



急激にふえる  
プレジャーボート

欧米にくらべて、日本のモーターボートの普及率は何十分の一。カナダに比較すると、人口当りの保有台数は百分の一という少なさです。日本の水のスポーツレジャーは、発展の途にいたばかり。しかしGNP世界第二位。昭和六十年には欧米なみに百人に一隻ぐらいになるだろうと、政府筋も予想しています。



ヤマハ船外機P-45をつければ、  
ゴムボートにもたちまち機動力。

# が待っている

船外機があれば…自由な水の世界へとび出  
していただけます。そこで展開される新鮮な遊び  
のかずかず。あなたのお店のお客さまにも、  
この喜びを知っていただきたいものです。



## フィッシング

水のスポーツレジャーの中でも、急激に人気が高まっているのがボート釣り。自分だけのポイントを求めて、ボートを走らせ、釣果も倍増。いまやボート釣りは釣りの世界の本命です。



## スイミング

静かな海や湖にボートで乗り出し、魚の遊泳が見えるような、静かな水でスイミング。ひと泳ぎして疲れをおぼえたら、ボートに上ってひと休み。つめたい飲み物が待っています。

## スキン ダイビング

ウエットスーツに身をかため、ときには空気ポンペを背おって海底へ。夢のような海の神秘が待っています。海上には頼りになる海の仲間とヤマハボート。安心して冒険に挑めます。



## ハンティング

静かな水面をゆるがす銃声！ わき上る羽音。ボートによるハンティングは、ビューティフルなスポーツです。獲物を求めて進むとき、静かなヤマハ船外機が真価を発揮します。



## セーフトィ セーリング

青空にはためく真白なセール。ヨットの補機にヤマハ船外機を使えば、楽しいセーリングが、さらに安全になります。風するとき、あるいは港に入るとき、船外機が役に立ちます。



Y.こじま

船外機があれば...

# 楽しい水の遊び



## ランナバウト

青い水面に、白いシェパードを引いて、爽快に走る。ポートがはね、波頭がダイナミックに船底を打つ。ランナバウトは走る楽しみを思いっきり味わうことです。

## クルージング

ときには家族と、ときには親しい友人と、大きめのボートで遠出。クルージングは、優雅な水上のツーリングです。船上での食事、談笑。明るい歌声も青空へひびきます。



## ボート キャンピング

水平線に浮かぶ点のような島。緑ゆたかな無人島だ。さあ上陸して、テントを張ろう！ 星空の下でのバーベキュー、そしてダンス。オートキャンピングとはちがった楽しさがあります。



## 水上スキー

力強いヤマハ船外機にけん引されて、青いゲレンデを快走！ しぶきの中に、青春のいぶきが上がる。安全に楽しくテクニクが習得できる「ヤマハ水上スキー教室」も好評です。



## トローリング

船外機の白い航跡に、銀色の釣り糸が交差する。グンとくる大きな手ごたえ。バケがはね、銀鱗が陽に光る。豪快なトローリングのダイゴ味も、船外機があってこそ味わえるのです。



# ヤマハ船外機 P-450



日本の海が待っていた  
「新しいチカラ」

日本でもっとも多くの人びとに愛用されているヤマハ船外機。この高性能シリーズに、また新たな新しい威力が加わりました。思い切ったリパワフルな25馬力・P-450と、9馬力・P-165の二機種です。

## ●エンジン：軽い新設計、水冷ツイン

430CCで余裕ある25馬力。このクラスでは世界トップクラスの超軽量。新しい設計技術と、厳選された材質から生まれたコンパクトで強い

水冷2気筒エンジンです。リードバルブ方式の採用で吸入効率が高く、低速から高速まで、抜群の性能を発揮します。

## ●カウリングは：水をシャットアウト

カウリングまわりは完全にラバーシールされ、水の侵入をシャットアウト。エンジンの耐久性を向上

させています。振動が少なく、静かなエンジン構造です。

## ●運転操作は：ラクラク設計

運転に必要なノブ、スイッチ類が、すべて一カ所にまとめられているので、操作しやすく、握りをひね

るだけで速度をコントロールできるツイストグリップとあいまって、運転はラクラク。

新発売

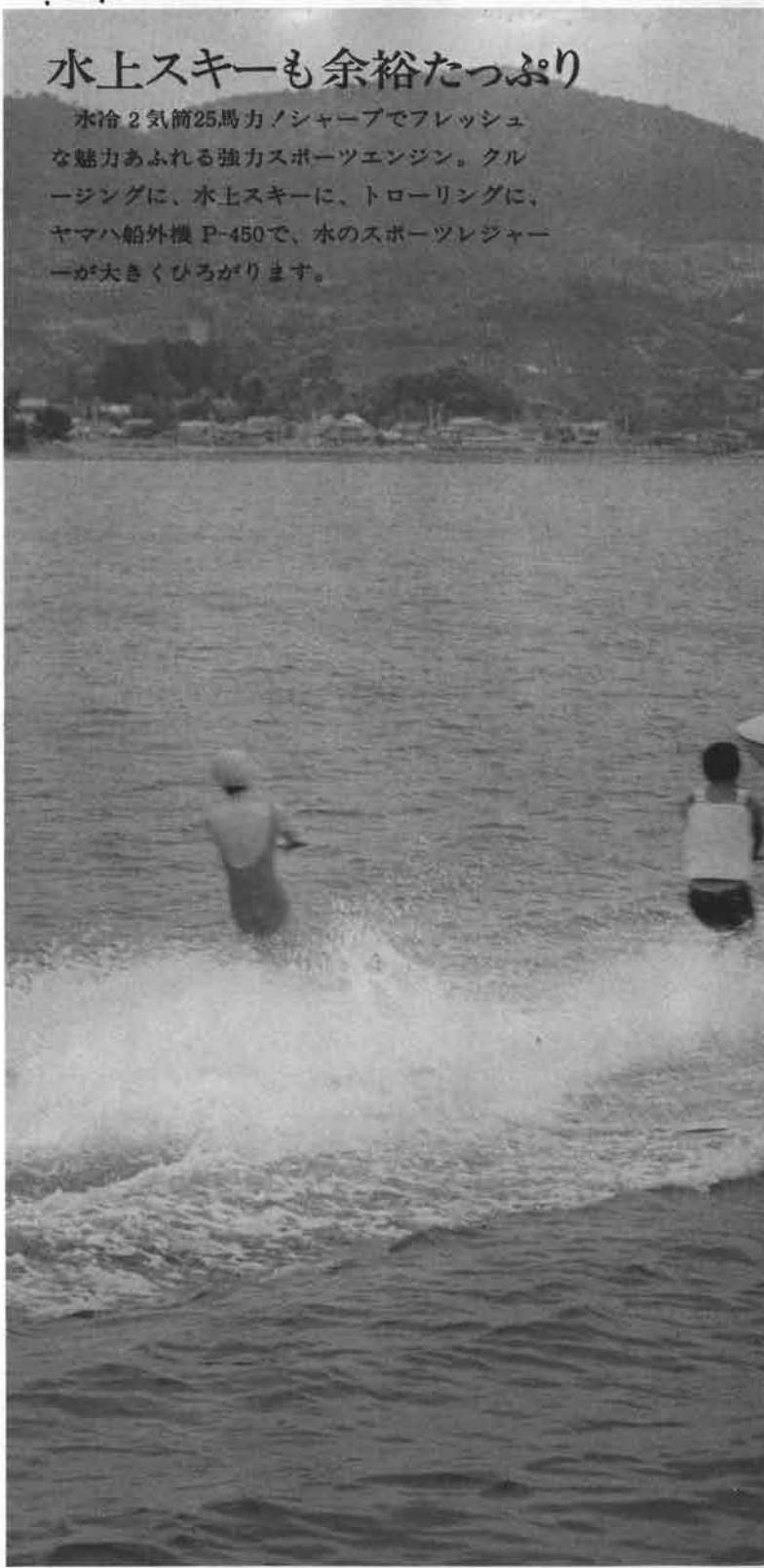
パワフル

25

馬力

## 水上スキーも余裕たっぷり

水冷2気筒25馬力ノシャープでフレッシュな魅力あふれる強力スポーツエンジン。クルージングに、水上スキーに、トローリングに、ヤマハ船外機 P-450で、水のスポーツレジャーが大きくひろがります。



### ■仕様

総排気量	430cc
最高出力	25PS/5,200r.p.m.
内径×行程	67mm×61mm
圧縮比	7.5
冷却方式	水冷(サーモスタット付き)
チェンジ	前進・中立・後進
使用燃料	混合ガソリン
混合比	50:1(ヤマハ指定オイル)
燃料タンク容量	24ℓ
重量 S	38kg
" L	39kg
全長	600mm
全幅	320mm
全高 S	1,075mm
" L	1,205mm
トランサム高 S	430mm(17インチ)
" L	560mm(22インチ)

※オプション=リモートコントロールセット、点灯コイル(40W)プロペラ(ウイドレス)プロペラ(重荷重用)電動スターターキット(近日発売予定)

### ●リモコン操作は…運転席で始動OK

オプションのリモートコントロール装置に加えて、ポートの運転席で始動ができる電動スターターキット(オプション)を使用すれば、リモコン操作がさらに便利になります。

### ●チルトレバーは…自動的にロック

浅瀬や作業のために船外機をチルトアップさせたあと、もとに戻すと、チルトレバーが自動的にロッククされて、エンジンののはね上りを防ぎます。

### ●新しいアイデアは…使いやすさに重点

釣り糸を巻き込まない特殊設計。キャブレターを保護する大型フィルター。点火タイミングをより正確にする新リンク機構。新型24リットルのセバレート式燃料タンク。加えて、豊富なオプションルバーツと、新しいアイデアが一杯です。

# “釣り”の魅力を再発見!

レジャー用のフィッシングボートから、沿岸漁業用の和船まで、幅広い用途を満たす船外機—ローシルエットの美しいデザイン。強力9馬力・P-165の登場です。軽く、コンパクトにまとめられたエンジンには、みがき抜かれたヤマハの技術が秘められています。



新発売

パワフル ナイン

9

馬力

# ヤマハ船外機 P-165



### ●エンジンは…静かな水冷2気筒

164ccで余裕ある9馬力。静かでなめらかに回転する新設計・水冷2気筒エンジンです。ソフトラバーマウントによって、船体への振動を吸収し、快適な乗心地です。

### ●デザインは…斬新で、軽量・超小型

このクラスの船外機では、世界でトップクラスの軽さ。その秘密は、耐蝕アルミダイキャストをふんだんに使ったり、新機構のスターター（特許）の採用などで、軽量化とコンパクト化に成功したことです。

### ●操船は…非常にラクなエンジン設計

前進・中立・後進のギヤシフトに加え、推進方向をどちらにも変えられるフルピボットタイプ。さらにレバーひとつの操作で、浅瀬航走もできる便利な設計です。

### ●リモコンは…オプションでOK

リモコン（オプション）を取付ければ、一本のレバーで、発進・後進が思いのままです。

### ■仕様

総排気量	164 cc
最高出力	9.0 PS / 5,000 r.p.m
内径×行程	50 mm × 42 mm
圧縮比	7.0
冷却方式	水冷
チェンジ	前進・中立・後進
使用燃料	混合ガソリン
混合比	50対1（ヤマハ指定オイル）
燃料タンク容量	12ℓ
重量	25 kg
全長	530 mm
全幅	270 mm
全高	995 mm
トランサム S	445 mm
トランサム L	585 mm
トランサム UL	635 mm
トランサム SUL	710 mm

※オプション＝リモートコントロール（Remote）、点灯コイル（12V、40W）

# これが ヤマハ船外機の メカニズムだ!

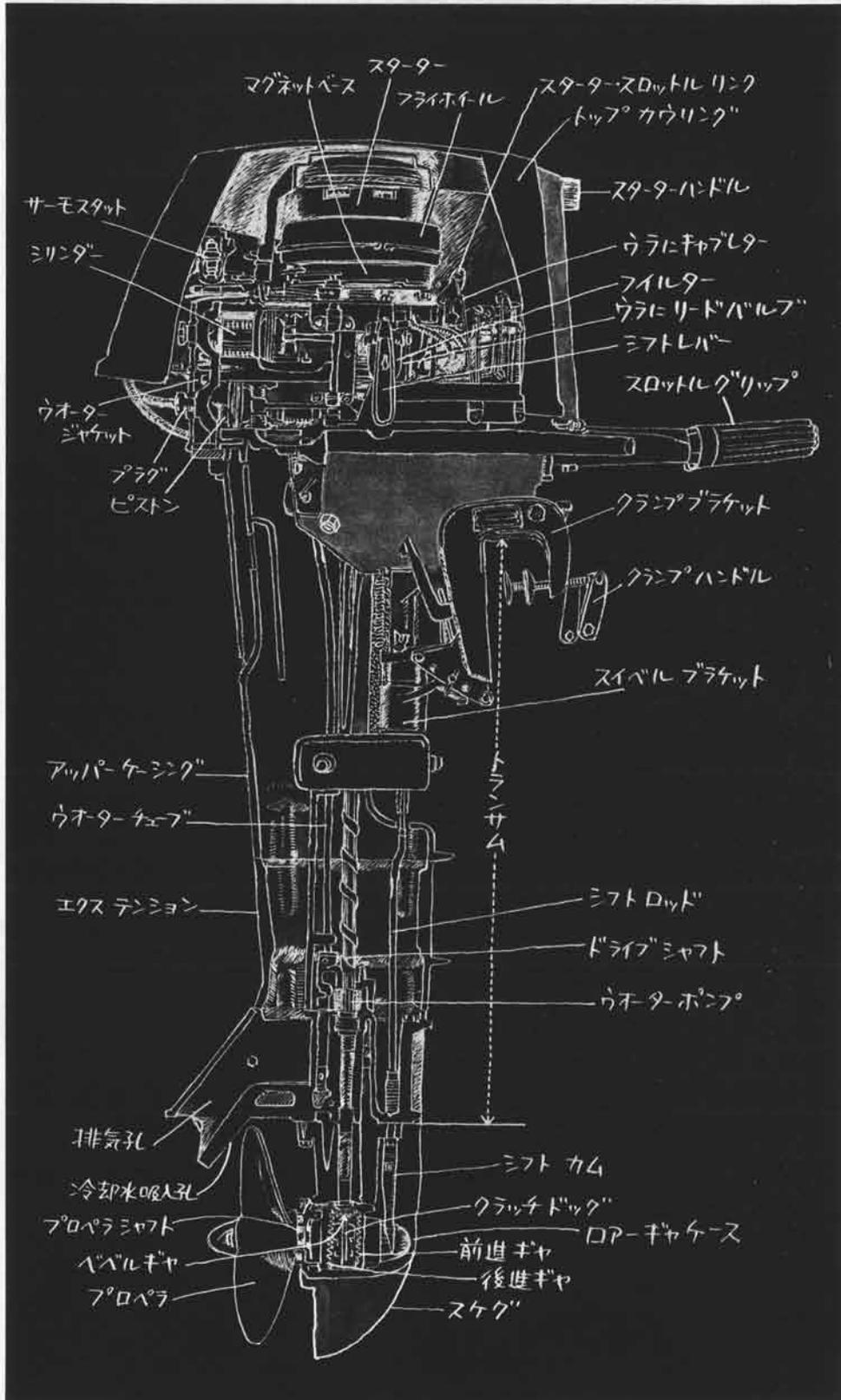
ご覧ください。これがパワフルヤマハのメカニズムです。機構、構造はオートバイとほとんど同じ。オートバイのエキスパートであるあなたのお店なら、手軽に扱っていただけます。

P250の分解図で、船外機のメカニズムを眺めてみましょう。

★ギヤシフトは、シフトレバーを前後に倒すことで、シフトロッドを介し、シフトカムによって前進、後進、中立にシフトします。  
★スロットルは、オートバイ同様にスロットルグリップの操作で、スロットルリンクを介しコントロールします。

★始動は、スターターハンドルでスターターワイヤを引き、スターターブリーチを介してフライホイールを回転させ、エンジンを回転させます。点火はオートバイエンジンでおなじみのフライホイールマグネトー式です。

★冷却は、P-450水冷式ですから、冷却水吸入孔からウォーターポンプで冷却水をくみ上げ、ウォーターチューブを通り、エンジンのウォータージャケットを通じてエンジンを冷却、冷却の役目を終えた冷却水は、排気とともに排気孔から水中に排出されるのです。



★エンジンは、リードバルブ吸気の2サイクル、水冷2気筒。燃料は混合ガソリンを使用し、燃料タンクは別体になっています。

★動力は、エンジンの左右のピストン運動を、クランクシャフトで回転運動に変え、シフトロッドでベベルギヤまで伝えられます。この間は、まったく減速はされません。

★ベベルギヤで、前後進ギヤと噛み合い、プロペラシャフトを回す。この時はじめてエンジンの回転力は、減速されます。

# 水のレジャーをひろげるヤマハ

ヤマハ船外機によって  
豊かに安全にくりひろげられる水のレジャー。

太陽が、風が、そして  
あふれる色彩が奏でる賛歌の中を  
ヤマハ船外機は力強い航跡を残して  
前進をつづけます。



●きれいな水を求めて、スイミング・ベースに……

●釣り人口1,000万人。爆発する釣りブームに……

水のレジャーを  
ひろげるヤマハ



新しいファミリー・レジャーの花形に...



海の世界の神秘を求めて...

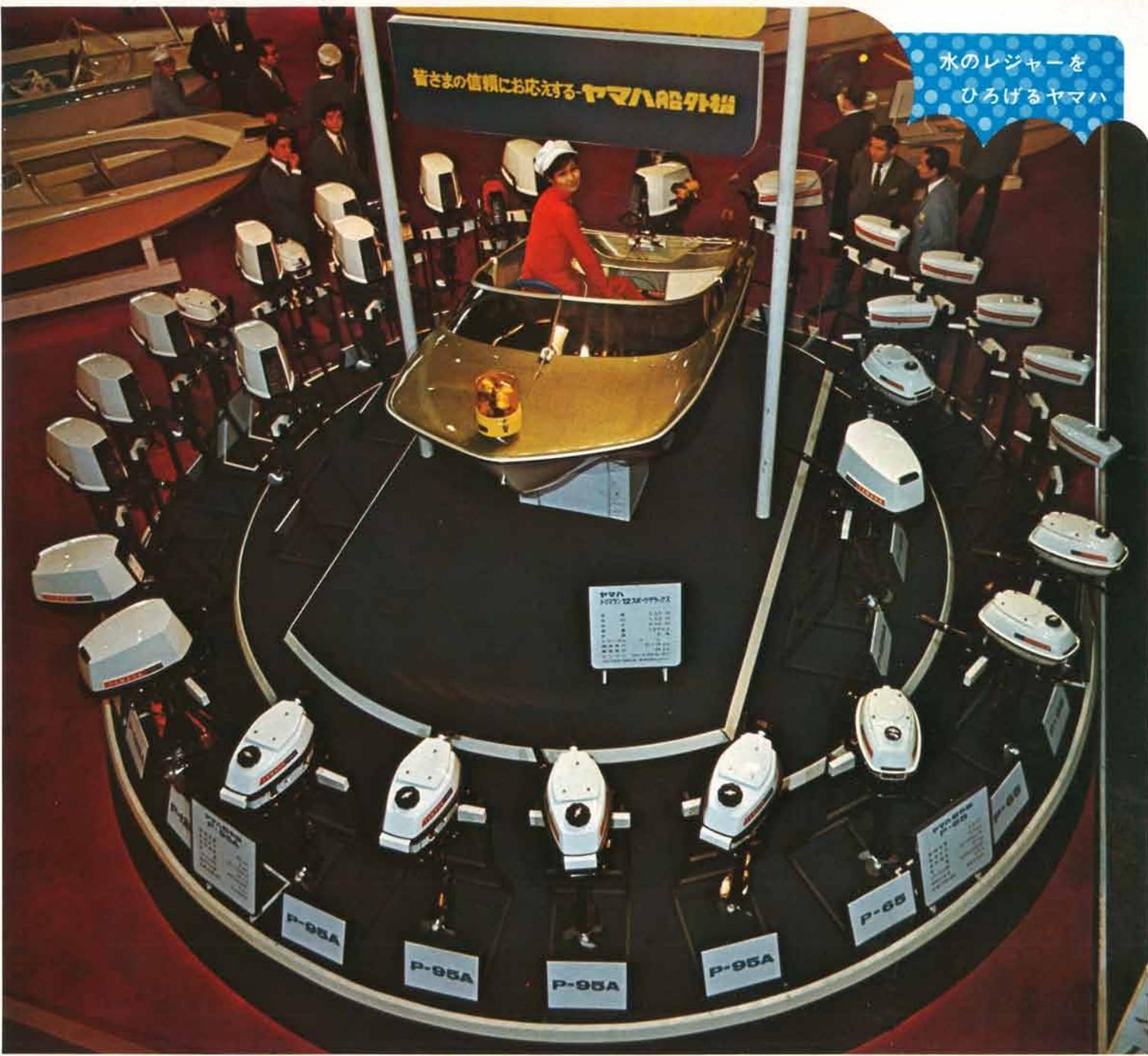
●あふれるパワー！ ヤマハ船外機は水のレジャー時代を力強くけん引する



●水鳥を追って



●ヨットの補機として



水のレジャーを  
ひろげるヤマハ

皆さまの信頼にお応える-ヤマハ船外機

型式	P-95A
出力	9.5HP (7.0kW)
全長	2,100mm
全幅	250mm
全高	1,100mm
重量	22.0kg
最大回転数	3,000rpm
最大前進速度	10.0ノット
最大後進速度	3.0ノット
最大燃料消費量	2.5L/h
最大航続距離	100海里
最大乗員数	2名
最大積載量	100kg
最大搭載容量	100kg
最大搭載容量	100kg

●豊富な機種そろえて注目を浴びた  
71東京ポートショウ会場のヤマハ船外機

**ライオンアックス** **YAMAHA**

●水のレジャー時代の到来を告げる  
一大ページェントー71東京ポートショウ



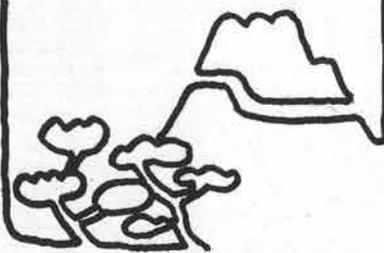
陸のヤマハ、水のヤマハも大好評。  
野島さん(右)とスポーツリーダーの浅井さん



## 陸のヤマハ、 水のヤマハでSLを普及

オートバイを販売して二十年。クラブ「次郎長ライダーズ」の面々と協力して、「羽衣」で名高い三保の松原を中心に、スポーツ需要を伸ばしてきた清水市の富士商会さんは、こんどは雄大な富士を背景にした駿河湾に、ボート、船外機の需要をふやしています。「これからは海のスポーツ時代がくる」という確信のもとに、四年前からヤマハ船外機、ヤマハボートの販売にも乗り出し、いまでは、オートバイに匹敵する売上げを得ています。

静岡県清水市……  
富士商会さん



ロードレースに、モトクロスに、  
ツーリングに、クラブの活動も大型化



## \*四輪よりも船外機に賭ける

ヤマハ第一号車・赤トンボが発売された当時「日本楽器がつくったオートバイだから、マフラーからドレミファの音が出てくるんじゃないだろうか」と、販売店さん同士で、語り合った思い出があるほど、オートバイ業界でのキャリアの長い野島早生さん。富士商会の経営者です。日本で最初の耐久ロードレースといわれる富士登山レースにも、昭和二十九年、三十年と連続して、選手として出場したこともある超ベテラン。

この野島さんが、オートバイと並行してヤマハボート、船外機の販売に乗り出したのは新しい時代を予測するたしかな目があったからです。

「一時、四輪車のブームがありましたね。うちでも四輪をやるかと考えてみたんですが、四輪は販売店の数があまりにも多い。オートバイには、需要がみつ

いていくという見通しはあったけど、四輪にかじりついて、はたして長つづきするだろうか、いろいろ考えました。

結局、四輪のつぎにくるものはなにか、それは「海」しかない、と思い当たったのです。

そこで、ヤマハオートバイを扱っているのだから、ヤマハボート、船外機を売ろうと、決心したわけですね」

## \*努力の積み重ねが実を結ぶ

まだ、船外機やボートが、水のレジヤの花形商品としてもはやされていなかった四年前に、こうした決断ができたのは、野島さんが十七、八年以前に、清水の水の上警察をはじめ、官庁関係に業務用艇を納入していた経験があったことも幸いしていました。

ヤマハ船外機、ボートを販売するといっても、新しく需要をつくる活動から開始しなければなりませんでした。

最初の一年間は、PRにつぐPRに終始しました。

ボートの試乗会を開いたり、新聞折込みチラシをまいたり、いろいろな努力を重ねてきました。

船外機、ボートが本格的に売れ出したのは昨年からです。

富士商会さんのお客さまの中には、ボートとオートバイの両方を愛用している人もいますが、まだ、どちらかというところ、オートバイのお客さまはヤング層。ボートのお客さまは所得も多い中年層といった傾向です。

しかし、いずれはヤング層の水のレジ

ヤーへの進出によって、この間隔がうずめられるでしょう。

## \*海の安全教育を徹底的に

陸のロードマスターである野島さんは海についての知識と経験も豊富で、ボート、船外機のお客さまの信頼を得ています。

「船外機、ボートを販売していて、いちばん気を配るのは「安全」についてです。お客さまには、海のおそろしさを徹底して、身にしみ込ませていただいています」

ヤマハスポーツレジヤ会のリーダーで、ヤマハオートバイとヤマハボートの両方のオーナーである浅井井さんも、ボートを購入するとき、一週間にわたって、野島さんから「セーフティ・ポイントインク」の特訓を受けた一人です。「首ねっこを押さえつけられるようにして、安全教育を身につけさせられました」と、浅井さんは語っています。

「売りさえすればよい」という考え方を徹底的にきらう野島さんです。

同じ考え方の人びとと語らって、安全なボートインクをテーマにした映画をつくる計画もすすめています。

## \*二輪スポーツも強方に推進

一方、オートバイ部門についても、クラブ組織の拡大やヤマハスポーツレジヤークラブの活用などをつうじて、より楽しく、より安全なスポーツレジヤーを積極的に推進している富士商会さんです。

陸のヤマハ  
水のヤマハで  
SLを普及

富士商会さんの目の前には巴川が流れ  
ボートを売るにも上々の立地条件



SPORT CYCLE  
50-350



スポーツレジャーをひろげる店に  
ふさわしい活気がある



## 船外機の売上げ、年間百台を突破

三重県大王町・山屋モーターズさん

観光客の絶え間ない伊勢志摩で、ヤマハオートバイや船外機、ボートの普及に力を入れる山屋モーターズさん。需要を喚起するための積極的なムードづくりに努力しています。

英虞湾を中心に、海のスポーツレジャーを渗透させると同時に、真珠養殖の作業船や、海女のエビ、貝類の採集船に、ヤマハ和船を普及させています。

いまでは船外機の販売台数が年間百台を越え、オートバイ同様、欠かすことのできない主力製品になっています。

## 船外機、売るぜ、 まかせろ、花形商品

「ヤマハ船外機を売って、将来性のある水のレジャーを先取りしよう」船外機やボートの販売に力を入れるヤマハフレンド店、ヤマハスポーツ店のかたがたがふえてきました。



## 温泉街にマリーナも建設

兵庫県城崎町・スター商会さん

ゆたかな観光資源に恵まれた山陰海岸国立公園。そのほぼ中央に位置する城崎町で自転車からオートバイ、そして船外機、ボートと、営業内容の幅を大きくひろげてきたヤマハフレンド店さんがあります。

「子供用の三輪車から大型ボートまで、取扱商品がふえました。が、それぞれの部門の売上げは絶対に減らさないよう頑張っています」と、ご主人の木下さんはおっしゃいます。

この夏には、温泉街の人びとの後援で、円山川河口に水の遊び場「城崎温泉マリーナ」を建設。町の観光開発にも寄与するところが大きいでしょう。

## 海がなくても船外機は売れる

栃木県宇都宮市・佐藤モーターズさん

「昨年のくれ、ヤマハボートとスノーモビルの展示会を開いたら大盛況でした。栃木県には海がないので、ボートがめずらしかったんでしようね」佐藤モーターズの経営者、佐藤さんのお話です。

「これからのスポーツレジャーは大型化し、多様化する。レジャーの中心は行動するレジャーへ。その点、家族ぐるみで楽しめるボートは、たいへん魅力があるしかねてからの佐藤さんの信念が、現実のものになってきつつあります。

「これからのレジャーは、オートバイで遠乗りして、目的地でオートバイを楽しんだりする時代ですね」

海は遠くとも、ボートを買ってくれるお客さまはふえるはずだ、と、張切っている佐藤さんです。



## オートバイ展示会にボートを出品

愛知県安城市・みのわモーターズさん

恒例のオートバイ展示会にボートも展示したら、会場がヤマトにぎやかになり、会場がグッと大きくなりました。展示会のお客さんからの引合いも活発です。みのわモーターズさんで

## 総合スポーツレジャーを売る店へ

愛知県豊川市・和田スポーツレジャーショップ

総合的なスポーツレジャーを売る店に、徐々に進んでいこうと、「和田スポーツレジャーショップ」と、店名も改めた和田モーターズさん。

ヤマハボート・トリマラン12や

船外機も店内において、開放的な雰囲気をつくり出しています。

オートバイで陸のレジャーを、ヤマハボート、船外機で水のレジャーを楽しむお客さまもふえるでしょう。



# 増産急ピッチ!

## 性能、生産、機種の数

## すべてにトップのヤマハ船外機

国内はもちろん、ひろく海外の海で、川で湖でプレジャー用に、作業艇にと大活躍をつづけているヤマハ船外機。その高性能に加わえ、軽い、錆びない、使いよいと各地で大好評です。

最近の急激な船外機の需要増加につれて、P-45からP-450まで、増産は急ピッチ。最新機械を導入してのラインも連日フル稼働。水のエース・ヤマハ船外機は続ぞく誕生しています。



1

最新設備のこの工場から、月産6千台の船外機が生産され、国内はもとより全世界に送り出される。機械加工から完成まで、一貫作業で行なわれるが、8月からはさらに一体塗装ラインも加わる。

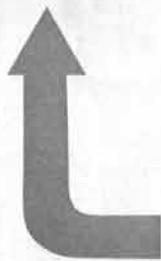
2

高性能ヤマハ船外機の第一歩は、厳密なパーツチェックから始まる。細かいパーツの一点一点を鋭くチェックしていく部品検査。このように厳しい品質管理の姿勢が全行程を貫いている。



4 トランサム（舷外機）の機械加工行程。

4



3

生産行程は、機械加工、組付け、完成の三つに大別されている。これは、エンジン部の機械加工、シリンダーヘッドの加工が行なわれている。

6

船外機の心臓・エンジンの組付けライン。



5

機械加工の終わった部品は組付けラインに送られる。ここは、エンジンライン、ドライブライン、メインラインの3ラインから成っている。写真はベルトコンベアに乗って、つぎつぎと組付けが行なわれていくドライブライン。



7

エンジン部とドライブ部を組付けるメインラインは、タービテーパー式。人と機械がみごとに調和し、見るまに船外機が型づくられていく。





9

大排気量船外機のテストは、こちらの水槽で行なわれる。生ぶ声のようなエンジンとプロペラの轟音は、はやくもたくましさをみなぎらせている。



8

組付けが終了すると、最後の関門、製品検査。小排気量の場合は、このように回転式水槽に入れられ、20台づつフル回転が続けられる。

10

テストで品質を保証されると、出荷準備にかかる。ト  
ップカウリングやカバーが装着され完全な製品として完  
成されるわけだが、準備終了とともに待機する暇もなく、  
船外機はつきからつきへと出荷されていってしまう。ま  
さに増産、増産の毎日だ。

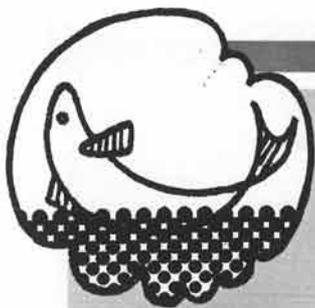


それ行け！ 漁場へ一番乗り  
漁業に大活躍のヤマハ船外機

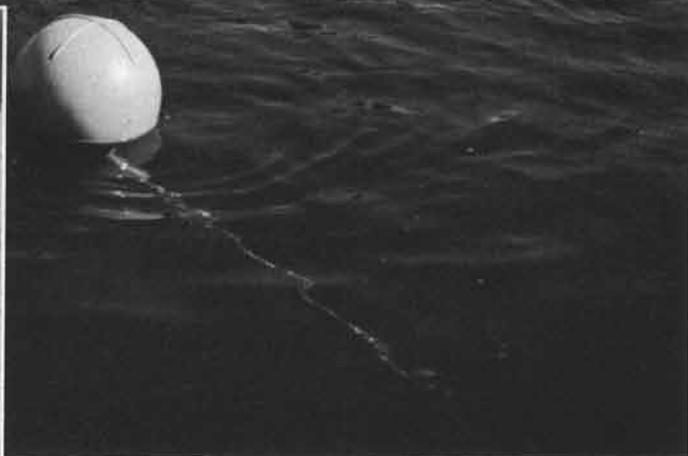


漁業へ快走！ パワフル・ヤマハだ。

ノリ養殖も沖合いでのベタ流し漁法に(九州・有明海)



漁のあい間に楽しい船外機競走。ここでもヤマハの高性能が評判だ(近畿・松阪)



## ググンとふえた 小型動力船

ヤマハ船外機は、日本の浅海漁業の構造改善にも大きく貢献しています。

水産物の需要は増大の一途をたどっており、新鮮で、豊富な種類の海の幸を供給する浅海漁業の役割もますます重要になってきています。

この浅海漁業も、漁法や漁具の改善によつて、大きく近代化がすすみましたが、とくに目立つのは、船外機の普及にともなう動力船化です。

手こぎの和船は大巾に減りました。

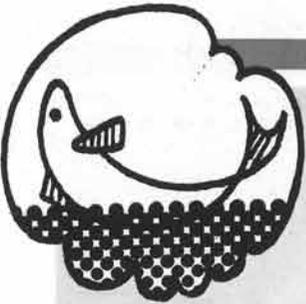
## 遠い漁場も

## なんのその

産業の飛躍的な発展と、人口の都市集中にともなう公害で、水質の汚濁が進行しています。

漁場環境の悪化に対応して、新しい漁場を開発したり、漁場を沖のほうに求めたり、浅海養殖を振興させたり、新しい漁法をとり入れたり、多くの改革がみられています。

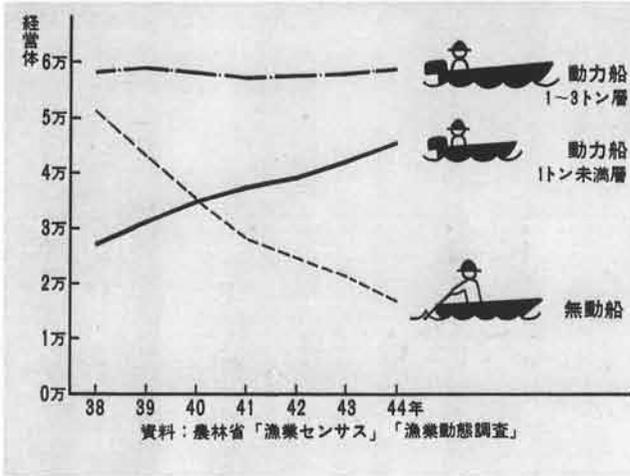
これにともなつて、船外機の必要性が、いっそうクローズアップされてきました。しかも、より力のある船外機が求められる傾向が強まったのです。



八目ウナギ漁にもヤマハは出動。  
用途の広い船外機だ(東北・能代)



きょうも、とり入れをおわって。  
新鮮なコンブが息づいている(北海道・釧路)



無動力船から動力船へ……  
漁業経営体が変わっています

ヤマハ和船とヤマハ船外機のコンビは、これまでの漁業用和船の概念を変えました。  
強力新船材F・R・Pによるヤマハ和船は耐久性も抜群。漁場へ一番乗りの高速度性能も備えています。  
加えてF・R・Pヤマハ漁船の登場は、生産性の向上に拍車をかけるものと、注目されています。

ヤマハ和船、  
漁船も好評

ドカーン  
と大漁、ドカーン  
と宣伝

ヤマハ和船・船外機



ヤマハ大漁セール



期間：7月20日～9月20日

期間中お買上げの方にもれなく、ヤマハ大漁  
晩酌セット一式を呈呈!

「ヤマハ大漁セール」をドカーンと実施中。  
新聞、雑誌、ラジオなど、多くの広告媒体を  
使って、全国的に大々的な広告を実施して  
います。いちばん人気のあるヤマハ船外機をさ  
らに売りやすくする企画です。

# 余裕ある高性能! ヤマハ船外機

1.5馬力から25馬力まで……機種の数でも日本一

## P-450



総排気量…… 430cc  
最大出力…… 25ps  
重 量…… 38kg  
トランサム…… 430/  
560mm  
タンク容量…… 24ℓ

## P-165



総排気量…… 164cc  
最大出力…… 9.0ps  
重 量…… 25kg  
トランサム…… 445/585/  
635/710mm  
タンク容量…… 12ℓ

## P-45



総排気量…… 43cc  
最大出力…… 1.5ps  
重 量…… 9kg  
トランサム…… 420mm  
タンク容量…… 1.0ℓ

## P-250



総排気量…… 229cc  
最大出力…… 15ps  
重 量…… 36kg  
トランサム…… 432/584/  
711mm  
タンク容量…… 17ℓ

## P-200



総排気量…… 197cc  
最大出力…… 12ps  
重 量…… 35kg  
トランサム…… 432/584/  
711mm  
タンク容量…… 17ℓ

## P-125A



総排気量…… 123cc  
最大出力…… 6.0ps  
重 量…… 28kg  
トランサム…… 455/562/  
637/711mm  
タンク容量…… 12ℓ

## P-95A



総排気量…… 92cc  
最大出力…… 5.0ps  
重 量…… 20kg  
トランサム…… 455/  
582mm  
タンク容量…… 2.5ℓ

## P-65



総排気量…… 63cc  
最大出力…… 3.5ps  
重 量…… 15kg  
トランサム…… 444/  
584mm  
タンク容量…… 2.4ℓ

YAMAHA OUTBOARD MOTOR